

令和4年度 外務大臣表彰

台湾人受賞者に対する表彰式の実施について（下）

外務大臣表彰は、我が国との友好親善関係の増進に特に顕著な功績のあった個人および団体について、その功績を称えるものです。

令和4年度、台北事務所からの推薦により中華文化総会、台日文化経済協会及び台中市白冷圳水流域発展協会が、高雄事務所からの推薦により社団法人台湾応用日本語学会がそれぞれ受賞されました。ご功績に対し、衷心より敬意と感謝を表します。

今月号では、中華文化総会、台日文化経済協会及び台中市白冷圳水流域発展協会の受賞式でのご挨拶を紹介いたします。

中華文化総会

功績概要：日本と台湾との相互理解の促進

中華文化総会は、台湾文化を発展させ、また広く海外に知らせる活動を行っているほか、特に文化を通じた諸外国との交流や友好促進活動に力を入れており、近年は日台交流を積極的に行っています。2018年から東京での日台友好イベント「Taiwan Plus」の定期開催を始め、新型コロナウイルス感染症の影響で訪日が困難になって以降は、台湾において様々な日本関連の行事を開催ないし支援してきており、日台関係の深化に大きく貢献しています。

外務大臣表彰を受けて 中華文化総会

私たちが続けてきた、日台交流促進における取組みが日本政府に評価され、この度、外務大臣表彰受章という名誉に浴することができましたこと、大変な光栄です。これからも、日台の友情を深めるため、いっそう尽力する所存です。

台湾と日本は、地理的にも歴史的にも、長きにわたる緊密な関係を有しています。双方の窓口機

関がしっかりとタッグを組んでいるのみならず、経済や文化、更には流行等まで、あらゆる側面で深く密接な交流があります。そして、「まさかの友は真の友」と言われるように、日台は、自然災害やコロナ禍等に見舞われるたび、互いに思いやり、支え合い、家族のように助け合ってきました。コロナで世界的に往来が止まってしまった間も、日台の友情はむしろ深まっており、これは大変珍しいケースなのではないかと思えます。

日台は、直接会うことができなくても、マスクやワクチンを贈り合い、力を合わせて難局を乗り切りました。そしてこの間、奈良美智さん、野老朝雄さんといった日本の著名な芸術家が台湾で大型の展覧会を行ったことは、日台の友情の象徴として、台湾の多くの人々の記憶に残っています。私たち中華文化総会は、このような日台文化交流の実現に携わることができたことを、心から誇りに思っています。

今、人々は、コロナ後の新たな交流への期待に、胸を膨らませています。中華文化総会は、今年の8月には、日本台湾交流協会と共に、総統府前の凱達格蘭大道で、「日台フルーツ夏祭」を開催し、9月には東京で、「台湾吉日」をテーマに、台湾文化のお祭り「TAIWAN PLUS」を開催しました。コロナ禍を経て、2018年、2019年に続き3年ぶりにようやく“帰ってきた”今回のTAIWAN PLUSには、日本各地から20万人もの人たちが足を運んでくれました。

これら一つ一つの成果は、私たちの力だけで成し得たものではありません。すべては、日本台湾交流協会をはじめとする日台双方の多くの関係者の方々のお力添えと、そして何よりも、日台友好

を願う、双方の市井の人々の力強いサポートがあつてこそです。

今回の表彰に、改めて、心からの御礼を申し上げます。私たち中華文化総会はこれからも、日台交流に力を尽くしてまいります。すべての日本の皆さまに台湾をもっともっと知ってもらい、そして日本を愛してやまない台湾の人々がもっともっと日本を好きになること、それが、私たちの目指す目標です。



8月20日、日台フルーツ夏祭で泉代表より賞状授与

台日文化経済協会

功績概要：日本と台湾との相互理解の促進

台日文化経済協会は、日台関係の推進を目的とし、知日派の重鎮らにより1952年に設立されて以降、70年にわたって日台間の文化、経済、教育など様々な交流に尽力されています。1990年代までは日本の対台湾友好団体「日華親善協会」のカウンターパートとして、主に日台の企業家交流等を推進し、2000年代以降は文化・学術交流に特に力を入れています。近年は「大学・大学院日本研究論文コンテスト」「杜萬全日本留学修士奨学金」などを開始し、台湾における若手知日派の育成に大きく貢献しています。

外務大臣表彰を受けて 台日文化経済協会

泉裕泰代表、日本台湾交流協会の皆様、そして台日文化経済協会の皆様、こんにちは！台日文化経済協会会長の杜恒誼です。この度、台日文化経済協会は2022年という厳しい1年間において暗闇の中に現れた一筋の光のように、令和4年度外

務大臣表彰の受賞という喜ばしい知らせをいただき、大変光栄に思います。

驚くことに、外務大臣表彰を受賞した昨年2022年はちょうど台日文化経済協会設立70周年の節目の年でした。諺では「人生七十古來稀」（人生七十古來稀なり）と言いますが、その記念すべき年にこのような荣誉ある賞を賜り、当協会の日台交流への貢献が認められたことを嬉しく思います。昨年1年間は、自民党青年局、大阪府堺市議員、李登輝友の会、日華親善友好慰霊訪問団などの団体が台湾を訪問し、ともに手を携えて発展をしていくこと誓いました。絶え間なく変化する国際情勢と日台関係において、日本が台湾と引き続き強い関係を保っていくためにも、官民の協力は欠かせません。

台日文化経済協会が設立した71年前を振り返ると、両国の関係は破綻の危機にありながらも、日台の有志が様々な方法で手を取り合い、民族の違いや歴史的背景、政治的な損得を越えた友情を維持してきました。これは、まさに民間から自発的に生まれたエネルギーによるものです。台日文化経済協会は、このような歴史とともに歩んできたことを大変光栄に思います。その過程においては、日本、台湾いずれにおいても大きな政権交代が何度もありましたが、常に政治的な立場を越えて、様々な分野からの友情を受け入れてきました。今後は、「知日派」の台湾の青年を育成するだけでなく、「知台派」の日本の青年を育成することにも邁進していきたいと思ひます。

「道雖邇、不行不至；事雖小、不為不成」（道は邇しと雖も、行かざれば至らず。事は小なりと雖も、為さざれば成らず）という諺にもあるように、すぐに成果が出ないなどと言いつて歩みを止めていたら、今の日台関係は無かったと思ひます。台日文化経済協会はこれからも、困難ではあるが孤独ではない道を一步一步前進するために最善を尽くしていきます。

最後に、外務大臣が台日文化経済協会の日台交流に対する貢献を認めてくださったことに改めて感謝申し上げます。また、日本台湾交流協会がこのような素晴らしい式典を準備してくださったことに、協会を代表して心より御礼申し上げます。



2月15日、公邸で泉代表より賞状授与

台中市白冷圳水流域発展協会

功績概要：日本と台湾との相互理解の促進

台中市白冷圳水流域発展協会は、日本統治時代に金沢出身の磯田謙雄技師が中心になって建設し1932年に通水した、農業用水路「白冷圳」の保存活動に尽力されてきました。白冷圳は、大甲溪から16キロにもわたって水をひき、台中市新社地区での農業を可能にしました。1999年の921大地震により、白冷圳が使用できなくなった後、台中市白冷圳水流域発展協会はその修復活動を行い、白冷圳は現在でも大切に利用されています。また、同協会は2012年以降、毎年、磯田謙雄技師の貢献を顕彰する文化祭を行い、金沢市との交流活動を行うなど、日台の友好親善の推進に大きく貢献しています。

外務大臣表彰を受けて 台中市白冷圳水流域発展協会

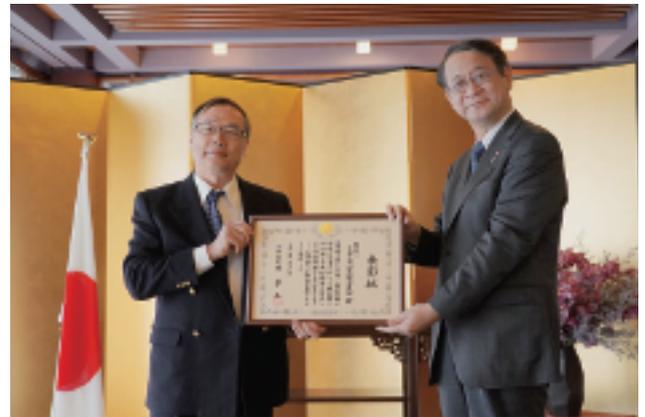
この度、外務省のご厚意により、日台友情に貢献したことに対して名誉ある賞を受賞でき、大変光栄に思います。

白冷圳水流域発展協会は、設立から今まで20年以上が経ちました。台湾で唯一、一つの農業用水路の開通日を祝う協会です。白冷圳が完成し通水した日である毎年10月14日には、白冷圳建造の中心人物であった磯田謙雄技師への感謝を込め、技師の記念像前の広場に集まり、歌や踊り、演説などの方法で感謝の気持ちを伝えています。

安倍晋三元首相がおっしゃった台湾有事は日本有事という言葉は、日本と台湾の関係は血のつながった兄弟のように強く、言葉では表せないことを示しており、多くの人を感動させました。

白冷圳文化祭では毎年、磯田謙雄技師の子孫と（磯田技師の出身地である）金沢市の代表団が参加し、歴史的に意義がある追悼行事を行うことによって、日台の友情はますます深まっています。そして、往来がより頻繁になり、関係が更に親密になることを目指しています。

最後に、日本台湾交流協会の泉裕泰代表のご支援、村嶋郁代広報文化部長の外務大臣表彰へのご推薦に感謝を申し上げます。日本と台湾のますますの発展を願っております。



2月15日、公邸で泉代表より賞状授与

(原文は中国語、台北事務所にて翻訳)